

尚綱大学 尚綱大学短期大学部
平成31年度 入試日程のお知らせ

※詳しくは募集要項またはWEBでご確認ください。 〈お問い合わせ先〉尚綱大学・尚綱大学短期大学部入試センター ☎096-273-6300

尚綱大学 【現代文化学部 文化コミュニケーション学科】 募集人員／75名	入試区分	エントリー期間	授業体験・面談	結果連絡	出願期間	合格通知発送	入学手続期限
	AO入試 《第1回》	平成30年 7月 2日(月) ～ 8月21日(火)	8月25日(土)	8月31日(金)	平成30年 9月 3日(月) ～ 9月13日(木)	9月19日(水)	9月28日(金)
	AO入試 《第2回》	平成30年 9月 3日(月) ～ 9月21日(金)	9月29日(土)	10月 5日(金)	平成30年10月 9日(火) ～10月19日(金)	10月24日(水)	11月 9日(金)
	AO入試 《第3回》	平成30年11月16日(金) ～12月 4日(火)	12月 8日(土)	12月14日(金)	平成30年12月17日(月) ～12月25日(火)	12月27日(木)	平成31年 1月11日(金)
入試区分		出願期間		選考日	合格発表	入学手続期限	
推薦入試(指定校、一般、併設校) 社会人入試、外国人留学生入試		平成30年11月 1日(木)～11月12日(月)		11月17日(土)	11月26日(月)	12月 7日(金)	

尚綱大学 【生活科学部栄養科学科】 募集人員／70名 編入学定員／10名	入試区分	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限
	推薦入試(指定校、一般、併設校) 社会人入試	平成30年11月 1日(木)～11月12日(月)	11月17日(土)	11月26日(月)	12月 7日(金)
	編入学試験(3年次)	平成30年11月22日(木)～12月 4日(火)	12月 8日(土)	12月17日(月)	12月25日(火)

尚綱大学短期大学部 募集人員／310名 【総合生活学科】／80名 【食物栄養学科】／80名 【幼児教育学科】／150名 ※食物栄養学科・幼児教育学科に ついては、今年度よりAO入試を 新規実施いたします。 ※幼児教育学科のAO入試は 2回の実施となります。	〈総合生活学科、食物栄養学科〉						
	入試区分	エントリー期間	授業体験・面談	結果連絡	出願期間	合格通知発送	入学手続期限
	AO入試 《第1回》	平成30年 7月 2日(月) ～ 7月20日(金)	7月28日(土)	7月31日(火)	平成30年 8月 1日(水) ～ 8月20日(月)	8月27日(月)	9月 7日(金)
	AO入試 《第2回》	平成30年 9月 3日(月) ～ 9月21日(金)	9月29日(土)	10月 5日(金)	平成30年10月 9日(火) ～10月19日(金)	10月24日(水)	11月 9日(金)
	AO入試 《第3回》	平成30年11月16日(金) ～12月 4日(火)	12月 8日(土)	12月14日(金)	平成30年12月17日(月) ～12月25日(火)	12月27日(木)	平成31年 1月11日(金)
	〈幼児教育学科〉						
	入試区分	エントリー期間	授業体験・面談	結果連絡	出願期間	合格通知発送	入学手続期限
	AO入試 《第1回》	平成30年 9月 3日(月) ～ 9月21日(金)	9月29日(土)	10月 5日(金)	平成30年10月 9日(火) ～10月19日(金)	10月24日(水)	11月 9日(金)
	AO入試 《第2回》	平成30年11月26日(月) ～12月11日(火)	12月15日(土)	12月21日(金)	平成30年12月25日(火)～ 平成31年 1月10日(木)	平成31年 1月11日(金)	平成31年 1月23日(水)
入試区分		出願期間		選考日	合格発表	入学手続期限	
推薦入試(指定校、一般、併設校) 社会人入試、外国人留学生入試		平成30年11月 1日(木)～11月12日(月)		11月18日(日)	11月26日(月)	12月 7日(金)	

※尚綱大学・尚綱大学短期大学部及び尚綱中学・高等学校の平成31年1月以降の入試については次号にてお知らせいたします。

後
塞

新緑の青葉が繁れる季節を迎え、学園も学生の笑顔で溢れています。
建学の精神の基、智と徳を兼ね備え社会に貢献し得る女性の育成に励んできた「尚綱学園」は創立130年を迎えることができました。
わたしも、お母さんも、おばあちゃんも尚綱学園。そんな歴史をこれからもずっとつづけていきたいものです。(S.M)

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。 編集・発行/尚綱学園 編集スタッフ/黒瀬英夫、松野多恵子、増本紗希、西村奏美、木庭敦子、古澤千鶴、木村杏莉
〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp



尚綱大学 尚綱大学短期大学部
尚綱高等学校 尚綱中学校 (中高一貫)
幼保連携型認定こども園
尚綱大学短期大学部附属こども園



2018年 春夏号

尚綱学園広報誌
Vol.28

基礎
ISHIZUE

Vol.28 CONTENTS

特集、新任教職員紹介	P1-P2
イベントレポート	P3-P4
寄附金についてのお知らせ	P5
平成29年度決算と事業報告の概要	P6-P8
平成30年度事業計画(概要)	P9
インフォメーション	P10



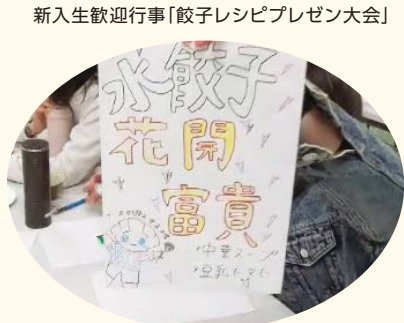
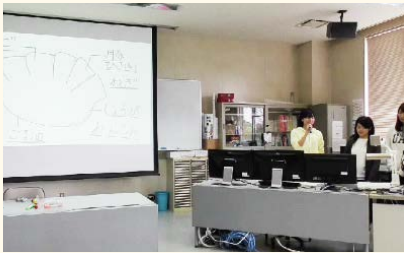
現代文化学部 文化コミュニケーション学科スタート！

平成30年4月、めでたく一期生を迎え入れることができました。

本学部は、高度情報化とグローバル化が進む日本において、「文化」の学びを社会的実践に結びつける能力を育成することを目的としています。

一期生は、幅広い教養を身につけた上で、2年次の後期から4つの専門領域(情報メディア文化、観光文化、日本・東アジア社会文化、文芸文化)のうち2つの領域を選択し、専門領域科目を学ぶ段階へと進みます。

一期生の成長を見守っていただければ幸いです。



新任校長紹介

尚綱中学校
尚綱高等学校
はた
秦 すみ子 校長
平成30年4月就任

【プロフィール】

- 出身
昭和33年11月 大分県生まれ
- 趣味
海外旅行 占い
- 好きな食べ物
甘い物 フルーツ
- 休日の過ごし方
週末は少し朝寝をして掃除洗濯、溜まった仕事の片付けをします。長期休暇は実家に戻り温泉につかってボーッとしています。
- 尚綱の好きなところ
生徒の清楚な雰囲気、女子校らしい優しさが溢れているところ。
- みなさんにひとことメッセージをください。
「教育」は何事にも代え難い財産です。



新任園長紹介

幼保連携型認定こども園
尚綱大学短期大学部附属こども園
ごとう せいじ
後藤 誠司 園長
平成30年4月就任

【プロフィール】

- 出身
昭和32年6月 熊本県生まれ
- 趣味
音楽 ジョギング 読書
- 好きな食べ物
竹輪 かまぼこ
- 休日の過ごし方
庭の手入れ ジョギング 温泉
- 尚綱の好きなところ
「表面を飾らず内面の充実に努める」の精神です。
- みなさんにひとことメッセージをください。
4月から皆様と新しい出会いがあったことを大変ありがたく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



尚綱学園は平成30(2018)年に 創立130周年を迎えました。



130周年記念事業については
記念特集号を発刊予定です。

記念シンポジウム

平成30年5月13日(日)九品寺キャンパスにて学園創立130周年記念シンポジウムを開催し、当日は天候の悪い中、ご来賓、一般の方をはじめ、学生、生徒及びその保護者、同窓生、本学教職員、約1800名の方にご参加いただきました。

記念シンポジウムでは、第一部として、『女性の品格～21世紀の人材:強く、賢く、美しく～』をテーマに、学校法人昭和女子大学理事長・総長 坂東眞理子氏をお招きし、基調講演を行い、第二部では、尚綱大学・尚綱大学短期大学部学長 森正人がコーディネーターを務め、『いま、なぜ、女子教育か』をテーマに、坂東眞理子氏、学校法人福岡女学院理事長 十時忠秀氏、筑紫女学園大学学長 中川正法氏、尚綱中学・高等学校校長 秦すみ子の5名によるパネルディスカッションを行いました。ご来場いただきました皆様に御礼申し上げます。



ホームカミングデイ

平成30年5月13日(日)九品寺キャンパスにて第6回ホームカミングデイを開催しました。同窓生、元教職員の皆様、在学生のご家族や地域の皆様等多数ご来場いただき、「くまもと学講座」や「さくらカフェ」、「SOGOバザー」「食品・栄養研究発表会」、高校卒業後10・20年記念同窓会など、楽しいひと時を過ごしていただくことが出来ました。



マスコットキャラクター

記念シンポジウム終了後、サプライズで尚綱学園マスコットキャラクターのお披露目・表彰式を行いました。尚綱学園マスコットキャラクターとして「花くま」が選ばれ、学生、生徒からは大きな歓声が上がりました。今後「花くま」は尚綱学園の広報で活躍してもらいます。



親子三代表彰・座談会

学園創立130周年記念事業のひとつとして、親子三代表彰・座談会を開催しました。本学園に親子三世代、四世代で通われていた17組の皆様に感謝状と記念品を贈呈し、当日は9組のご家族の皆様にご出席いただきました。また座談会では尚綱での思い出を語っていただき、おおいに盛り上がりしました。



シャトルバス

平成30年4月より尚綱シャトルバスの運行を開始しました。朝・夕の南北両ルートによる中高校生の登下校の送迎に利用しているほか、両キャンパス間や最寄駅からのシャトルバス便は、教職員も含めて活用しています。

新任教職員紹介

- 尚綱大学現代文化学部文化コミュニケーション学科
三浦 知志(准教授)
- 尚綱大学生活科学部／栄養科学科
田中 将之(教授)
- 尚綱大学短期大学部／幼児教育学科
栗川 直子(准教授) 安村 由希子(准教授) 佐藤 亮平(助教)
- 尚綱高等学校
岩村 佳好子(教諭) 松田 沙也加(教諭) 宮村 信也(講師) 川上 有紗(講師)
- 尚綱大学短期大学部附属こども園
後藤 誠司(園長) 坂下 真代(保育教諭) 吉田 恵(保育教諭)
寺本 美奈(保育教諭) 増田 宏美(保育教諭) 山下 亜美(職員)
- 尚綱大学／九品寺キャンパス
田中 克典(職員) 松高 有里(職員) 武末 佳奈子(職員) 滋野 奈津美(職員)
山下 雅史(職員) 森口 裕子(職員) 野中 桃子(職員)
甲斐 正哉(入試アドバイザー) 前田 三千治(入試アドバイザー)
- 尚綱大学／武蔵ヶ丘キャンパス
中嶋 彩乃(職員) 古田 海南子(職員)



尚絅大学 尚絅大学短期大学部

平成30年度 尚絅大学・尚絅大学短期大学部 合同入学式が挙行されました

平成30年4月4日(水)、尚絅アリーナ(九品寺キャンパス)において、尚絅大学・尚絅大学短期大学部合同入学式が挙行され、今年度は408名(大学生131名、短期大学部生277名)の新入生が新たなスタートを切りました。



尚絅中学校 尚絅高等学校

和装礼法部

平成30年4月8日(日)東京メルパルクホールにて、「2018年日本の心と美の祭典全日本きもの装いコンテスト世界大会(全日本きものコンサルタント協会主催)」が開催されました。3人1組の学校対抗の部で高校3年生上土井愛さん、池畑佳音さん、鈴谷美紀さんが優勝、振袖の部で2位に高校3年生小田愛莉さんが輝きました。また学校対抗の部で4年連続優勝と栄冠を受け継ぎ、5月24日(木)に受賞報告のため、熊本県の蒲島知事を表敬訪問し、温かい励ましのお言葉を頂きました。



修学旅行

1月30日(火)~2月3日(土)、シンガポール、台湾、東京・長野、奈良・京都の4コースで行いました。それぞれのコースでは、充実した研修を通して日本や海外の文化の良さを改めて知り、思い出に残る修学旅行となりました。



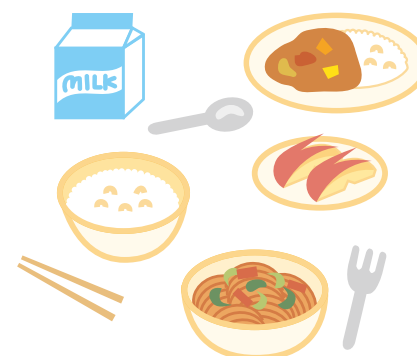
新入生合宿研修

4月19日(木)~21日(土)休暇村南阿蘇にて高校1年生を対象に合宿研修が行われました。ハイキングはとても素晴らしい気候に恵まれました。

尚絅大学短期大学部附属こども園

こども園の給食

こども園への移行により、自園調理での完全給食も3年目を迎えました。木造のランチルームで食べる給食を子どもたちも楽しみにしています。また、給食メニューも充実し、一層バラエティ豊かになっています。



尚絅食育研究センター



学食レシピコンテスト

毎年テーマを決めて「学食レシピコンテスト」を行っています。優秀作品は学食で実際に提供され、学生や教職員にも好評です。昨年度は、「ひこ野菜を使ったアイデアカレー」がテーマでした。

尚絅地域連携推進センター



意見交換会

平成30年3月、菊陽町武北小校区6行政区長と「公開講座」、「施設設備等」について意見交換会を行い、地域住民と直接触れ合う機会を設けています。

尚絅子育て研究センター



乳児保育研究会

毎月定例(水・14~16時)で「乳児保育研究会」を開催しています。実践をもとに明日への保育のヒントがたくさん得られる楽しい会です。開催日は、ホームページをご覧ください。

尚絅ボランティア支援センター



復興大学 in 熊本

熊本・宮城の大学の学生が集い、震災からの復興をテーマにボランティア支援活動についての報告や情報を共有し、被災した大学の学生間で交流を深めました。

「尚絅学園創立130周年記念募金」－教育・研究の施設、設備充実のための募金－について

学校法人尚絅学園は、平成30年に創立130周年を迎えました。

本学園は、明治21年に女学校として創立され、現在では、大学、短期大学部、高校、中学校及びこども園を擁する熊本県下唯一の女子総合学園となっています。これもひとえに皆様方の格別のご支援とご協力によるものと深く感謝申し上げます。

近年、学校を取り巻く環境は、少子高齢化、高度情報化、グローバル化の急速な進展、産業構造・就業構造の変化等により、厳しさを増してきております。こうした状況下、学園では、ここ数年来、教育研究、管理・運営面での改革を漸次進めてまいりましたが、未だ道半ばの状況で、今後改革を加速してまいらなければなりません。これに伴い、教育・研究の施設、設備面においても、一層の整備、充実を急ぐ必要があります。そのためには、確りした財務基盤が必要であり、学園におきましても経費節減、業務効率化に努めてはおりますが、広く学内外の方々のお力添えも得て資金を安定的に確保いたしたく、「尚絅学園創立130周年記念募金」をさせていただくことにいたしました。

以上の趣旨をおくみいただき、厳しい経済情勢下ではありますが、どうか皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

学校法人 尚絅学園 理事長 池満 淵

「尚絅学園創立130周年記念募金」－教育・研究の施設、設備充実のための募金－

☐募金目標額

第1期 30,000,000円
第2期 20,000,000円

☐募集期間

第1期 2018年4月1日～2021年3月31日(3年間)
第2期 2021年4月1日～2023年3月31日(2年間)

☐申込及び振込方法、税制上の優遇措置について、詳しくは尚絅学園のホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】学校法人尚絅学園 学園事務局総務部経理課 寄附金担当

〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6番78号 【TEL】096-364-0116 【FAX】096-363-6520 【E-mail】keiri@shokei-gakuen.ac.jp

125周年記念育英奨学寄附金の報告と受付終了について

創立125周年を機に、平成25年5月に開始した育英奨学寄附金は平成30年3月末をもって終了いたしました。この間、多方面のたくさんの方々からご寄附いただきましたことを、心より厚くお礼申し上げます。

皆様より、ご寄附いただいた寄附金は、育英奨学資金に活用させていただきました。

【125周年記念育英奨学寄附金報告】 ☐受入実績 第1期 ……………457件 32,239,000円
第2期 …………… 64件 21,200,000円 計521件 53,439,000円

☐活用実績 《奨学費支出》平成25年～平成29年度 …………… 53,439,000円

寄附者芳名録 平成29年11月16日～平成30年3月末

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、ご芳名を掲載させていただきます。

寄 附 金 内 訳

卒業生
2件/¥60,000

個人・法人・企業等
1件/¥1,000,000

合計
3件/¥1,060,000

卒業生・現旧役員教職員・個人・法人・企業

堀尾 久美子様

・寄附者ご芳名の発表は「個人情報保護に関する法律」に基づき、ご寄附のお申し込みの際にあらかじめ同意された方のみを掲載しています。匿名を希望された方でご芳名発表の変更をご希望の場合は、学園事務局までご連絡ください。なお、申込書の掲載希望欄に回印の記入のない場合にはすべてご芳名発表とさせていただきます。

・名簿整理には慎重を期しておりますが、万一、まちがいがございました場合はご連絡ください。

学校法人尚絅学園 熊本地震復興支援募金の受付終了について

平成28年4月14日以降の熊本地震に際し設置しておりました「学校法人尚絅学園 熊本地震復興支援募金」に対し、企業や大学等の団体、卒業生、本学教職員などから寄せられたご寄附は50件、21,725,270円となりました。皆様のあたたかいご支援、誠にありがとうございました。

寄せられた寄附は被災した本学園の学生・生徒への就学支援や、校舎等の修復といった教育・研究環境の原状回復費等の一部として活用させていただきました。その内訳は下記の通りとなっております。

本学園においては、熊本地震による建物・設備等の被害復旧が、平成30年3月末をもって完了したことから、「学校法人尚絅学園熊本地震復興支援募金」の受付を同年3月末で終了とさせていただきます。

【熊本地震復興支援募金活用報告】 ☐受入実績 ……………50件 21,725,270円 計 21,725,270円

☐活用実績 《就学支援金》……………27名 1,735,000円
《建物・機器等 原状復旧費》……19,990,270円 計 21,725,270円

学校法人尚絅学園 平成29年度決算の概要

1. 決算の概要

学校法人尚絅学園の平成29年度決算は、平成30年5月28日開催の理事会において承認・議決され、同日開催の評議員会に報告されました。また、監事及び監査法人の承認を得ております。以下、その内容についてご説明いたします。

(1)資金収支計算書 資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにして、支払資金の収入及び支出の顚末を明らかにしています。

資金収支計算書要約	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで			(単位：百万円)			
資金収入の部	平成29年度	前年度	増 減	資金支出の部	平成29年度	前年度	増 減
学生生徒納付金収入	1,443	1,482	△ 39	人件費支出	1,462	1,462	0
手数料収入	23	23	0	教育研究経費支出	956	450	506
寄付金収入	5	35	△ 30	管理経費支出	153	202	△ 49
補助金収入	1,149	770	379	借入金等利息支出	0	1	△ 1
資産運用収入	1	1	0	借入金等返済支出	14	14	0
資産売却収入	0	144	△ 144	施設関係支出	6	12	△ 6
事業収入	5	2	3	設備関係支出	160	32	128
雑収入	60	61	△ 1	資産運用支出	53	162	△ 109
借入金等収入	200	0	200	その他の支出	141	78	63
前受金収入	450	431	19	資金支出調整勘定	△ 166	△ 138	△ 28
その他の収入	123	153	△ 30	支出の部小計	2,780	2,275	505
資金収入調整勘定	△ 841	△ 575	△ 266				
前年度繰越支払資金	1,027	773	254	次年度繰越支払資金	865	1,027	△ 162
収入の部合計	3,645	3,302	343	支出の部合計	3,645	3,302	343

資金収支計算書の収入の部において、学生生徒納付金収入は1,443百万円となり、前年度比39百万円減少しました。また、補助金収入は1,149百万円となり、前年度比379百万円増加しました。これは熊本地震災害復旧補助金325百万円の計上等に依るところが影響しています。寄付金収入は5百万円となり、前年度比30百万円減少しました。

支出の部では、人件費支出は1,462百万円となり、前年度と同額となりました。教育研究経費支出は956百万円で前年度比506百万円増加、管理経費支出は153百万円で前年度比49百万円減少しました。教育研究経費支出における増加要因としては、熊本地震災害復旧費支出599百万円を計上したことに依るところが影響しています。その他、資産運用支出は53百万円となり、前年度比109百万円減少しました。以上の結果により、次年度繰越金は865百万円となり前年度比162百万円減少いたしました。

(2)事業活動収支計算書 事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容、収支状況を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示しています。

事業活動収支計算書要約

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:百万円)

事業活動収入の部	平成29年度	事業活動支出の部	平成29年度
(教育活動収入計)	(2,680)	(教育活動支出計)	(2,334)
学生生徒等納付金	1,443	人件費	1,443
手数料	23	教育研究経費	733
寄附金	6	[内奨学費]	(79)
経常費等補助金	1,144	[内減価償却額]	(376)
付随事業収入	5	管理経費	158
雑収入	61	[内減価償却額]	(22)
(教育活動外収入計)	(1)	(教育活動外支出計)	(0)
受取利息・配当金	1	借入金等利息	0
(特別収入計)	(121)	(特別支出計)	(4)
現物寄付等	121	資産処分差額	4
事業活動収入計	2,802	事業活動支出計	2,338
		基本金組入前当年度収支差額	464
		基本金組入額	△ 39
		当年度収支差額	425

事業活動収支計算書の収入の部、支出の部は資金収支計算書の収入の部、支出の部と同様の項目が多く含まれていますが、平成29年度の事業活動収支計算書における特徴的なものは、平成28年度に計上した災害損失引当金735百万円の取崩しにより、平成29年度に完了した震災復旧工事の支出に対処しています。この結果、教育活動収支差額は346百万円となり、前年度比1,195百万円増加しました。同様に基本金組入前当年度収支差額は464百万円となり、前年度比1,309百万円増加しました。

(3)貸借対照表 貸借対照表は、一定時点（決算日）における資産、負債、基本金の内容と在高を明示して学校法人の財政状況を明らかにしています。

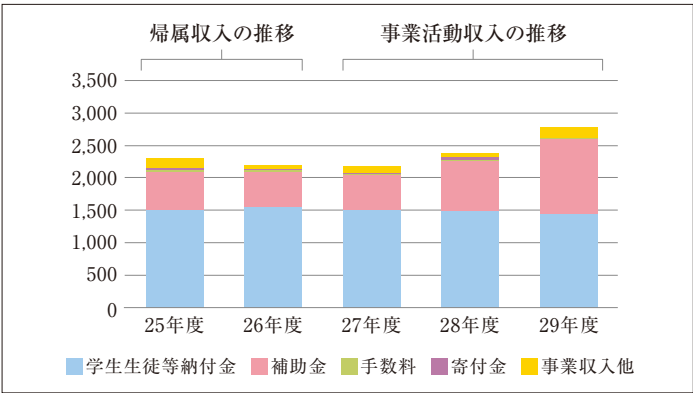
貸借対照表 平成30年3月31日

（単位：百万円）				（単位：百万円）			
資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	9,760	9,956	△ 195	固定負債	671	403	268
有形固定資産	8,184	8,422	△ 238	長期借入金	200	0	200
土地	1,023	1,023	0	退職給与引当金	383	402	△ 19
建物	5,538	5,838	△ 300	長期未払金	88	1	87
構築物	306	331	△ 26	流動負債	563	1,355	△ 792
教育研究用機器備品	359	312	46	短期借入金	0	14	△ 14
管理用機器備品	38	33	5	未払金	79	141	△ 62
図書	898	884	14	前受金	450	431	20
車両	22	0	22	預り金	34	33	0
その他の固定資産	1,577	1,533	43	災害損失引当金	0	736	△ 736
有価証券	20	20	0	負債の部合計	1,233	1,757	△ 524
退職給与引当特定資産	550	550	0	純資産の部			
減価償却引当特定資産	100	100	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
施設設備引当特定資産	726	676	50	第1号基本金	13,522	13,484	38
第3号基本金引当特定資産	176	176	0	第3号基本金	176	176	0
奨学寄附金引当特定資産	0	6	△ 6	第4号基本金	148	148	0
その他	5	6	△ 1	基本金の部合計	13,846	13,808	38
流動資産	1,293	1,157	135	翌年度繰越収支差額	△ 4,026	△ 4,453	427
現金預金	865	1,027	△ 161	繰越収支差額の部合計	△ 4,026	△ 4,453	427
未収入金	410	112	298	純資産の部合計	9,820	9,355	464
有価証券	0	0	0	負債及び純資産の部合計			
仮払金他	17	19	△ 1	科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部合計	11,053	11,113	△ 60	負債及び純資産の部合計	11,053	11,113	△ 60

平成29年度末における固定資産（土地・建物・機器備品・特定資産他）と流動資産（現金預金・未収入金他）を合わせた資産の部合計は11,053百万円で、建物や教育研究用機器備品の償却が進んだことにより、前年度末と比べて60百万円減少しました。一方、長期借入金等の固定負債と短期借入金及び未払金等の流動負債の合計額は1,233百万円となり、前年度末と比べて524百万円減少しました。これは平成28年度に計上した災害損失引当金736百万円が震災復旧工事の完了により減少したことに依るものです。

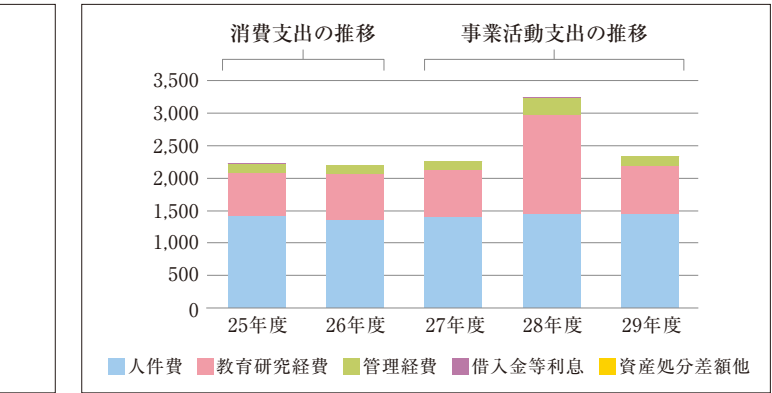
平成25年度から平成26年度まで「消費収支の推移」

収入の部	平成25年度	平成26年度
学生生徒等納付金	1,505	1,546
補助金	574	544
手数料	31	26
寄付金	32	18
事業収入他	154	67
帰属収入合計	2,295	2,201
基本金組入額合計	△ 405	△ 134
消費収入の部合計	1,890	2,067
支出の部	平成25年度	平成26年度
人件費	1,406	1,354
教育研究経費	664	704
管理経費	149	137
借入金等利息	3	2
資産処分差額他	0	2
消費支出の部合計	2,223	2,199
当年度消費支出超過額	332	132



平成27年度から「事業活動収支の推移」

収入の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学生生徒等納付金	1,504	1,482	1,443
経常費等補助金	532	770	1,144
手数料	26	23	23
寄付金	15	35	6
付随事業収入＋雑収入	94	72	66
事業活動収入計	2,173	2,386	2,680
基本金組入額合計	△ 315	△ 25	△ 39
支出の部	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人件費	1,397	1,434	1,443
教育研究経費	717	1,528	733
管理経費	145	269	158
教育活動外支出	1	1	0
特別支出	0	0	4
事業活動支出計	2,260	3,232	2,338



2. 事業の概要

学校法人 尚綱学園

(1)組織・運営態勢改革

- ①会計処理状況・公的研究費の執行状況等の内部監査を実施。
- ②規程と業務との整合性を検証し、規程の改廃を実施。
- ③大学・短大の外部認証評価実地調査が行われ、大学・短大ともに適格と認定。
- ④公式アカウント「LINE@」の運用を開始。
- ⑤品位・品格のある職場風土確立のため、全教職員による「あいさつ運動」を実施。また、毎月末日をクリーン・アップデーと定め業務・職場の整理・整備・清掃等を実施。

(2)財政改革

- ①中期財務計画を改定し、財務運営の実現に注力。
- ②入学定員確保に向け、入学者の経年比較や志願者動向調査データを分析し、効果的な募集活動方策を実施。

(3)人事・人材改革

- ①中期人員計画を作成し、事務量調査結果を基に適正な人事・人員配置を実施。
- ②教職員の資質・能力向上を図るため、計画的・積極的に学内外の研修を実施。

(4)環境整備改革

- ①既存施設有効活用の一環として「NHK公開復興サポート明日へin熊本」の会場として提供。
- ②中期施設整備計画を作成し、計画に則り詳細を検討。
- ③IT環境の整備として、中学・高校の建物においてICT教育を視野に学内無線LANを構築。

尚綱大学・尚綱大学短期大学部

(1)教育

- ①幼児教育4年制課程を視野に、他大学視察及び保育協会等と意見交換等を実施。
- ②フードサイエンティスト資格の調査研究を行い、当該資格の次年度からの導入を実施。

(2)学生支援

- ①障がい等特別支援を要する学生の環境整備として、一部階段に両側手すりを設置。
- ②学生生活に関する実態調査を実施し、集約した調査結果を学生に公表。

(3)研究

- ①科研費及び外部研究資金の公募情報の提供と科研費申請に関する説明会を実施。
- ②熊本市・菊陽町・合志市と包括連携協定に基づき、研究活動を推進。

(4)地域連携・社会貢献

- ①包括連携協定締結先と定期的な進捗状況等の意見交換を実施。
- ②自治体等が実施する各種イベントに参加。
- ③子育て研究センター公開シンポジウム・サマーセミナー・文化言語学部公開講座・尚綱公開講座等を開催。

(5)国際交流

- ①国際交流委員会としての「国際化ビジョン」案を作成。
- ②新たな交流協定締結先として英語圏（マレーシア）や東アジア（中国）の大学を視察。

(6)IRと自己点検・評価

- ①IR業務に精通した人材育成・スキルアップのため、IRに関する外部研修会に参加。
- ②外部認証評価実地調査が行われ、大学・短期大学部ともに評価基準を満たし適格と認定。
- ③PDCAサイクルを確立させるため、アンケート等様々な取り組みについて各委員会等の場で検討。

尚綱中学・高等学校

(1)教育

- ①礼法教育推進として全生徒のマナー検定上級の合格を目標とした取組みの実施。
- ②小論文講座、小論文模試、志望理由書添削等の入試に役立つ取り組みを実施。
- ③過去の海外修学旅行について内容の検証と行先を再考し、初めて台湾修学旅行を実施。

(2)生徒支援

- ①進路指導の充実のため、各研修会等に参加し、進路情報の共有を徹底し連携を強化。
- ②教育相談充実のため、保護者対象の教育座談会を実施。
- ③外部の各種研修等や他校視察を行い、指導力・授業力の向上に繋がる取組みを実施。

(3)地域貢献

- ①熊本城マラソンボランティアに約100名の生徒が参加。
- ②九品寺校地周辺の清掃活動や産業道路沿いの花壇へ花の植栽を実施。

尚綱大学短期大学部附属こども園

(1)教育・保育内容の改革

- ①自然環境の整備として専門家による講演「遊びを創り出す園庭」を実施。
- ②食育活動の推進として季節に応じた種まき・苗植え・栽培・収穫・調理体験を実施。
- ③園内研修や外部の各種研修会に参加し、教育・保育の指導力向上に繋がる取組みを実施。

(2)保護者支援

- ①保護者向け子育て講演会や個人面談・おしゃべり広場・保育参観での保育体験等を実施。

(3)地域連携

- ①地域老人会等と運動会・もちつき・昔遊び等のふれあい交流を実施。
- ②中高大生（西合志南中・武蔵ヶ丘中・尚綱高校・鹿児島国際大学）による実習等を実施。
- ③幼小連携を図るため、授業参観（菊陽西小・合志南小・武蔵小）への参加や幼小連絡会（南ヶ丘小・武蔵ヶ丘北小）を実施。

平成30年度 学校法人尚絅学園事業計画(概要)

I. はじめに

尚絅学園は平成25年度に学園の将来計画である「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」をスタートさせ、平成27年度に第1回目の改定、平成29年度に第2回目の改定を経て、今年度は10年計画の折り返し年度を迎えます。また今年度は創立130周年という節目の年度でもあります。

そういう中、社会環境や学園を取り巻く環境の変化は急速に進展しており、これらの急激な変化に対応するためには、中長期行動計画に基づく単年度事業計画を具体的かつ明確にした上で、ひとつひとつ確実に実行していく必要があります。

II. 主な施策

1. 学園全体・学校法人

本学園が教育研究機関として社会の要請に応え、学生生徒が充実した快適な学校生活を送るためには、確りとした財政基盤が必要であり、組織・運営態勢の改革、人事・人材の改革、環境整備の改革を不断に続けていくことが必要です。

- 組織・運営態勢改革
規律と誠実性を維持しつつ、急速に変化する環境変化に迅速に対応すべく、今以上にガバナンス機能・組織マネジメントを強化し、組織力を強化してまいります。
- 財政改革
少子化等の影響による学生・生徒等の確保が一層厳しさを増す中、一段と厳しい財務運営が予測されるため、中期財務計画に則り、安定した財務基盤の確保と適正な収支バランスの確保に努めてまいります。
- 人事・人材改革
学園・設置校に有為かつ適正な人員を確保しつつ、教職員一人一人の資質向上・能力向上に努めてまいります。
- 環境整備改革
施設整備計画に則り、教育・研究のための施設・設備の充実、IT環境の整備・構築に努め、より良い環境整備を進めてまいります。

2. 尚絅大学・尚絅大学短期大学部

尚絅大学・尚絅大学短期大学部は、尚絅学園の「長期ビジョンと中長期行動計画」が今年度より後半期に入るため、前半期の中長期行動計画に対する実施状況を踏まえ、後半期に向けた課題を抽出したうえで様々な具体策に取り組みます。

- 第一に、一部の学部・学科において定員が未充足であることです。今年度、文化言語学部を改組転換し設置する現代文化学部については昨年以上に志願者増加・入学者確保のための活動を継続します。短期大学部については総合生活学科は志願者増加の兆しがありますが、食物栄養学科・幼児教育学科が低減傾向にあり積極的な広報活動とともに、入学者選抜の方法及び学生のニーズに適応した免許・資格等に関して調査と研究を行い、平成31年度入試に取り入れます。
- 第二に、高校生の四大志向に適応した体制を構築することです。幼児教育分野の四年制課程設置のための調査及び検討を加速させます。
- 第三に、本学が教育の質保証を確立し、特色ある大学として地域社会の認知を得ることによって、本学の評価を高めていくことです。教養教育のあり方を点検し、尚絅らしい、尚絅ならではの自校教育を行うための授業科目の開発などに取り組み、学生に学士あるいは短期大学士としての確かな知識と技能を身に付けて教育の質保証に応えます。また、昨年度設置した学修支援センター、就職・進路支援センターの事業内容をさらに充実させ、学生に対する支援体制を強化します。
- 第四に、研究力の向上と外部資金の獲得を行うことです。研究倫理を定着させ、研究環境の整備を計画的に進め、外部資金等の獲得を支援し、教育と研究力の向上を図ります。
- 最後に、昨年度受審した認証評価機関からの指摘事項及び第3期評価システムへの対応です。今年度から認証評価が第3期に入るため、内部質保証を重視した第3期評価システムに基づく認証評価に備えます。その他にも、様々な課題がありますが、それらについては重点施策毎に具体策を講じてまいります。

3. 尚絅中学・高等学校

平成30年度は中長期行動計画の中間地点であり、これまでの5年間を総括し、さらなる事業内容の充実と新しい事業の取り組みを以下のように策定しました。

- 教育内容の充実と尚絅らしさの追求については、「建学の精神」「教育理念」を基に、人間教育の充実に努めると共に、入試改革に備え学力向上及び授業改革に取り組みます。新教育改革における教職員の更なる指導力強化を目指し、新しい教育スキルを磨くための研究に取り組みます。また、国際交流の推進においては、平成28年8月に韓国蔚山市立鶴城女子中学との姉妹校を締結したのを機に、同校との交流を推進すると共に、英語圏での姉妹校提携に向けての取り組みを行います。
- 生徒支援の充実については、これまでの事業に継続して取り組むと共に、スクールバスの円滑な運行やドミー入所生徒への支援に努め、新入生及び在校生の福利厚生への充実にも努めます。
- 学習意欲あふれる生徒の確保については、広報部を中心とした全職員による広報活動を継続して推進すると共に、学習塾との連携を一層深めます。また、昨年度から実施している人吉・阿蘇地区での出張入試に力を入れ受験者の掘り起こしに努めます。
- 指導力の向上につきましては、大学入試改革に伴った指導力を身に付けるため更なるスキルアップを目指し、ICTを活用した授業の研修に取り組み、指導力の向上に努めます。
- 地域貢献の推進では、本校主催の各種大会や部活動の合同練習会等に従来通りに取り組む一方、生徒募集を兼ねた取り組みとして中学校や塾への施設貸出にも積極的に取り組みます。

4. 尚絅大学短期大学部附属こども園

こども園として2年が経過し、周辺地域にも認定こども園に移行していることが周知されるようになり、2・3号認定希望者の見学や問い合わせも増えてきました。こども園の日課もようやく軌道に乗り始めており、これからも、こども園の理念に基づき、教育保育の充実を図りながら、特色ある園作りに取り組んで参ります。平成29年の告示により、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が改訂されました(幼稚園教育要領・保育所保育指針、共に同時改訂)。これにより、幼児教育・保育のあり方としては、「環境を通した教育」「乳幼児期からの発達と学びの連続性」「小学校教育との接続のあり方」などが明確になりました。具体的には、環境を通しておこなう教育の「資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識して計画・評価すること、0歳から就学前までの一貫した教育及び保育を園児の発達や学びの連続性を考慮し展開することなどが挙げられます。

- 第一に、園の教育・保育のあり方について職員間で考えながら丁寧な保育を目指していきます。
- 第二に、附属のこども園として短期大学部教員、各分野の専門家等と連携をしながら、実習や園内の研修会、豊かな環境作り、特別支援教育など指導力向上のために、注力して参ります。
- 第三に、こども園における在園児保護者支援では、多様な保育時間の利用、預かり保育、延長保育、充実した給食提供、スクールバス検討、特別支援等と保護者に寄り添った子育て支援、保護者支援に努めます。
- 第四に、本園への入園希望者を確保するために説明会・見学会の開催、子育て支援室利用保護者への対応、WEBページの充実等に努め、本園の教育及び保育の内容に、理解をいただき、信頼を受け、就園につながるよう努めて参ります。

尚絅大学 尚絅大学短期大学部 イベント情報

7月 オープン
キャンパス

8月 オープン
キャンパス

9月 尚絅
公開講座

10月

11月 芸術鑑賞会
尚絅祭
進学相談会

オープンキャンパス

7/21(土)・22(日)

8/4(土)・11/25(日)

事前申込
不要

「進学相談会」・「尚絅祭」と同時開催

受付/9:00～ 開始/10:00～

内容／●学部・学科説明 ●キャンパスツアー
●模擬授業 ●個別相談
●学食体験(ランチ無料) など

オープンキャンパス参加特典 参加者全員にオリジナルグッズをプレゼント!

〈詳細についてのお問合せ先〉尚絅大学・尚絅大学短期大学部入試センター ☎096-273-6300

平成30年度
尚絅公開講座

9/3(月)～9/7(金)

場所:九品寺キャンパス
メインテマ

『人間探求ー原点から未来へー』

対象:男女、年齢に関係なく受講できます。

※詳細は、決まり次第ホームページでお知らせします。



九品寺キャンパス 【大学】生活科学部栄養科学科
【短大】総合生活学科・食物栄養学科

武蔵ヶ丘キャンパス 【大学】現代文化学部文化コミュニケーション学科
【短大】幼児教育学科

尚絅祭
【百花繚乱～継承～】

11/24(土)・25(日)

場所:九品寺キャンパス、武蔵ヶ丘キャンパス

11/25(日) 進学相談会同時開催

●クラスバザー ●研究発表 ●カラオケコンテスト
●ミスコンテスト ●展示 ●ゲストライブ など
※詳細は、決まり次第ホームページでお知らせします。

尚絅中学校 尚絅高等学校 イベント情報

7月 オープン
スクール
文化祭

8月 オープン
スクール
サマー
スクール
小学生対象

9月 体育祭

10月 尚絅
コンサート

11月 芸術鑑賞会

尚絅中学校 尚絅高等学校

オープンスクール

第1回 7/7(土) 14:00～

第2回 8/4(土) 10:00～

当日参加
可能

内容／●生徒による学校紹介 ●部活動紹介
●授業体験 ●部活動体験・見学 ●DVD上映 など



オリジナルエコバッグ&生徒企画オリジナルグッズプレゼント!
尚絅スイーツ(7月)or尚絅バーガー(8月)もご用意!(それぞれジュース付き)
さらに抽選で、7/15(日)の文化祭で利用できるチケットをプレゼント!

〈詳細についてのお問合せ先〉尚絅中学校 尚絅高等学校 ☎096-366-0295



文化祭
7/15(日) 10:00～14:00



体育祭
9/23(日) 8:30～
場所:水前寺競技場

尚絅中学校

サマースクール

小学生のための1日体験

要事前
申込

8/7(火) 午前の部 9:00～11:30
午後の部13:00～15:30

内容／英語や環境の授業を中心に学習体験を行います。



〈第21回〉尚絅コンサート

10/20(土) 13:30～

場所:熊本県立劇場
生徒・保護者・同窓生による
コンサートです。

入場無料

